

有限会社 鷺津メッキ工業所

顧客先仕様に合わせて、自動メッキラインにて、生産しています。

代表者 菅沼 雅行 従業員 94人 資本金 500万円 創立 1961年12月
 所在地 〒431-0304 湖西市新居町内山1214-2 URL <https://washidu-mekki.com/index.html>



金
属

金属部品への各種メッキ（亜鉛メッキ、錫メッキ、ニッケルメッキ、無電解ニッケルメッキ、亜鉛鉄合金メッキ、亜鉛ニッケル合金メッキなど）を顧客先仕様に合わせて、自動メッキラインにて、生産しています。

■ 事業内容

金属部品（主に自動車部品）への各種メッキ（亜鉛メッキ、錫メッキ、ニッケルメッキ、無電解ニッケルメッキ、亜鉛鉄合金メッキ、亜鉛ニッケル合金メッキなど）を顧客先仕様に合わせて、自動メッキラインにて、生産しています。

■ 主要加工内容

亜鉛メッキ、錫メッキ、ニッケルメッキ、無電解ニッケルメッキ、亜鉛鉄合金メッキ、亜鉛ニッケル合金メッキなどのメッキ品

■ 主な製品

自動車部品

■ 加工材質

鉄、銅

■ 主要取引先

(株)DENSO・浜名湖電装(株)

■ 各種認証・認定・資格等

ISO9001、ISO14001
 メッキ技能士 1級、2級



電
気
・
電
子

樹
脂
・
化
学

機

械

そ
の
他

■ 主要製品紹介

 【亜鉛メッキ】 防錆メッキとして、広範囲に活用されています。	 【ニッケルメッキ】 空気に濡れに対して亜鉛メッキより安定している。防錆、防錆、潤滑に使用されています。	 【Cdメッキ】 比較的柔らかい硬度で延び性に優れている。電子部品に多く使用されています。	 【無電解ニッケルメッキ】 電気を使わない高硬質。マイクロ単位の制御により、高い精度があります。
 【亜鉛鉄合金メッキ】 亜鉛クロムコートより3倍以上の耐食性がある。自動車部品の機能メッキとして用いられます。	 【亜鉛ニッケル合金メッキ】 はんだ付け性、耐食性を目的として、電気、精密加工部品に使用される。	 【無電解ニッケル合金メッキ】 高い延び性を発揮し、二次加工後の耐食性に優れています。	 【Snメッキ】 金属の中で、電子伝導率が最も高い。電子工業部品で広範囲に使用されています。

■ 検査分析機器

機械設備	台数
蛍光X線膜厚計	1
塩水噴霧試験装置	1
原子吸光光度計	1
顕微鏡	2
硬度計	1
断面分析装置	1

■ 主要設備

機械設備	台数
静止亜鉛ライン	2
バレル亜鉛ライン	1
無電解ニッケルライン	1
バレルニッケルライン	1
複合ライン	1
静止亜鉛ニッケル(高Ni)ライン	1
クロム酸・黒染めライン	1
静止Snライン	1

連絡先

担当者 技術グループ 宮野 隆雄 E-mail wpk@washidu-mekki.co.jp
 TEL 053-595-3456 FAX 053-594-6678